

林業・木材産業の振興と新しい森林環境管理体制の構築

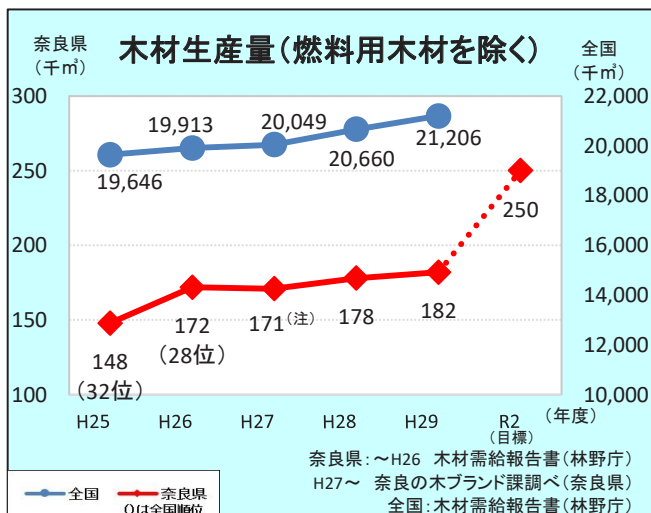
目指す姿

令和2(2020)年までに、木材生産量を25万 m^3 (A材^(注)148千 m^3 、B材44千 m^3 、C材58千 m^3)に増やすとともに、令和3(2021)年度に、新しい森林環境管理制度を導入します。

(注)A材…建築用材 B材…集成材・合板用材 C材…パルプ・チップ用材

主担当部局(長)名
農林部長 杉山 孝

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



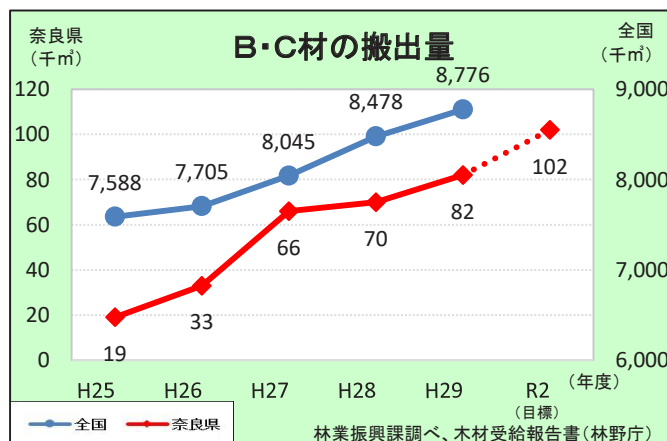
(注)H27年度からは、燃料用木材を含めた県独自調査の数値を記載しているため、全国順位は記載していません。

指標	木材生産量(燃料用木材を除く)(千 m^3)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	148	↑	182	33.3%	250
進捗状況	H25(2013)	34千 m^3	H29(2017)	4/7年目	R2(2020)
	平成27年度に奈良県林業・木材産業振興プランを策定し、従来的高级材を選んで出す林業から、A・B・C材全てを切り出す林業への転換を図る施策を推進したため、近年の木材生産量は増加傾向で推移しており、平成29年度は182千 m^3 となりました。引き続き、目標達成に向けて、全ての材を切り出す林業への転換を推し進めていきます。				

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 全ての材を搬出して多用途に供給するカスケード利用への転換を図ります。

主担当課(長)名
林業振興課長 大谷 義博



指標	B・C材の搬出量(千 m^3)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	19	↑	82	75.9%	102
進捗状況	H25(2013)	63千 m^3	H29(2017)	4/7年目	R2(2020)
	従来のA材のみを搬出間伐する林業から脱却し、A・B・C材全ての搬出間伐に支援することで、搬出量の増加に取り組んだ結果、平成29年度のB・C材の搬出量は、82千 m^3 となり、目標値102千 m^3 に向けて順調に推移しています。				

主な成果

- ・儲かる林業施業提案森林及び第1種木材生産林からの木材生産量が、奈良型作業道整備延長の増加により、平成30年は平成25年より10千 m^3 増加しました。
- ・輸出に取り組む企業の掘り起こしや、グループ化の支援を実施した結果、輸出に取り組む企業が増加し、8社になりました。
- ・森林管理制度について、スイスの森林環境管理制度を参考に、森林の4機能である「生産・防災・生物多様性・レクリエーション」を一元的に管理する「新たな森林環境管理制度」の方向性を定める条例(案)について検討しました。